

県種雄牛は交配方法によって評価が高まる

福島県農業総合センター 畜産研究所沼尻分場

1 部門名

畜産 - 肉用牛 - 畜産繁殖、畜産経営、市場対応

2 担当者

前田康之

3 要旨

近年、産肉能力の高い県種雄牛が次々と作出されている。しかしながら、県種雄牛の子牛セリ価格が低迷し、精液利用が伸びていないのが現状である。そこで、子牛市場及び枝肉出荷の成績を分析し、県種雄牛の評価を高めるための交配方法を明らかにした。

- (1) 血統(1~3代祖)について県種雄牛、人気種雄牛(産子価格が市場平均以上の種雄牛)、その他種雄牛(県外種雄牛)の3区分に分類して出荷成績を分析した。
- (2) 県種雄牛の子牛出荷割合は全体の8%程度で、生産者の県種雄牛に対する評価は、この僅かなサンプルから出ており、さらに、人気血統を1代祖に持つ繁殖牛には人気種雄牛精液を、県種雄牛を1代祖に持つ繁殖牛には県種雄牛精液を交配する偏った傾向が見られる。
- (3) 子牛価格は、1代祖が人気種雄牛の場合に突出して高価格となっている。県種雄牛は人気血統繁殖牛に交配した場合が最も高くなっている。しかし、1・2代祖又は3代祖まで全てが県種雄牛の場合、価格は大きく低下する(図1)。従って現状においても、繁殖農家は人気血統の繁殖牛に県種雄牛を交配することで、肥育農家が求める能力の高い県種雄牛産子を増産できる。
- (4) 枝肉成績は、1代祖が人気種雄牛の場合と1代祖が県・2代祖が人気種雄牛の場合で同等となる。しかし、2・3代祖に県種雄牛が入ると、枝肉成績は低下する(図2)。従って現状においても、肥育農家は、人気血統に交配した県種雄牛の産子を購入することにより出荷成績・収益性が高まる。
- (5) 県種雄牛の評価を下げている大きな要因は、育種価の低い古い血統が2・3代祖に入った繁殖牛に偏って交配されていることである。従って、県種雄牛を能力の高い繁殖牛に広く交配することにより、産肉成績に見合った高い評価が得られる。

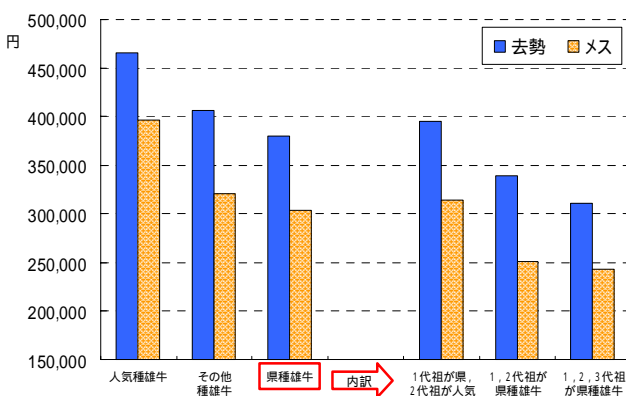


図1 血統組合せごとの子牛価格

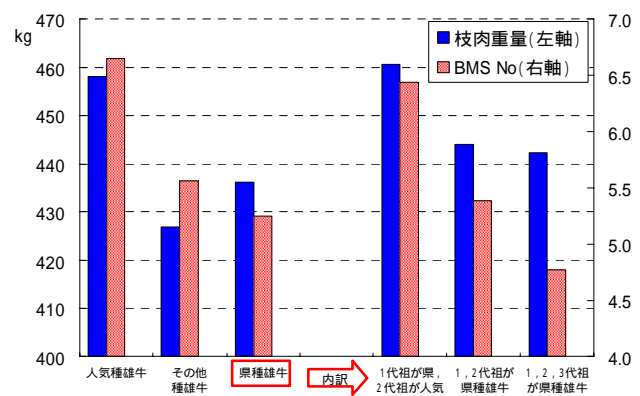


図2 血統組合せごとの枝肉成績

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2008)